

令和三年元旦

読み書き算数 石川塾

みな様

新年明けましておめでとうございます

お年玉付き年賀葉書からお年玉付き年賀切手へ・厚東偉介先生の寄付

令和になり初めての正月を迎えた昨年からお年玉付き年賀葉書を出すのを止め「千の声 VOICE 新年号」だけを封筒に入れ新年の御挨拶とさせていただきました。

今年はお年玉付き年賀切手(封書用84円切手に寄付金3円付き)を購入し封筒に貼りましたので—お年玉付き年賀葉書と同じ扱いで…1等が当るかもしれません！—皆さんお楽しみください。(抽選日 1/17→当たっていたら封筒のママ郵便局へ)

ところで皆さん「千の声 VOICE」を製作する費用ですが人の手間賃を除き 1 部(A3 判裏表 8 枚)の製作費(紙代印刷代封筒代など)と郵送料(50g)と合せていくらくらいかかると思いますか。(教室のリースカラーコピー機で)

「千の声 VOICE」A3/8 枚をモノクロで印刷すると 1 部 12.5 円。年 4 回で 50 円です。これをカラー印刷にしますと 1 部あたり 120 円ほどに切手代(94 円)など足すと費用は 1 部あたり約 250 円かかります。年 4 回ですとほぼ 1000 円になります。因みにコンビニのカラーコピーですと A3 判 1 枚 80 円×8 枚で 1 部 640 円かかります。

文字を読むにはペーパーがいい。カラー写真絵を見るにはホームページがいい。

昨年突然でビックリしましたが厚東偉介先生(現・中京学院大学特任教授/前・早稲田大学教授/経営哲学専攻)から「千の声 VOICE」に対する励ましのお言葉と寄付金 壱万円が同封贈られてきました。ありがたく頂戴しました。

大学院時代よく「教え鍛え」てくれた先輩です。その「教え」を継ぎ世に役立つことはできないものかと考え続けています。石川塾を起ち上げて 23 期目に入りました。

寄付金ですが一つは自分たちで作る本棚の材料費に充てます。一つは学習教材の文学作品を購入する費用に充てます。一つは子どもたちの懸賞入賞作品に対する記念品に充てます。そして「千の声 VOICE」の通信費切手購入代金に充てます。

厚東偉介先生のお便りに「千の声 VOICE 新年号」に取り上げました大村はま先生のお名前が登場します。石川塾は「教えるということ」を通し—ひとりひとりの子供たちの生徒たちの学力を伸ばし—ひとりひとりが「じりつ」への道を歩んで欲しいと願っています。学習メニューは石川ゼミ通信(ホームページ)を御覧ください。

(塾長 石川 剛)



謹賀新年



皆様

新年明けましておめでとうございます

大村はま先生の「教え」と2021年の読み書き算数塾

昨年度は、読み書き算数石川塾の指導にご理解ご協力いただきまことにありがとうございます！本年もどうぞよろしくお願い致します。

今回、新年号でお届けいたしました『千の声 VOICE』では、大村はま先生の“教えること”を取り上げました。これまで石川塾では、個々に合わせた単元学習を提供してきました。その単元学習を、より多くの方が受講しやすいように、“國語専科”“算数・数学専科”として講座一覧を作成しました。この単元学習は、大村はま先生の真骨頂である、単元学習を参考に石川塾長が生みだした“単元学習講座”です。

石川塾は、ご存知の通り個別指導に力を入れています。それは、個々の個性・能力を最大限に引き出すために、生徒一人ひとりに見合ったカリキュラムや教材を提供していきたいからです。ここから石川塾長の“単元学習”は生まれています。一覧にはなっていますが、毎回同じ授業ではありません。一人ひとりにとって唯一の講座と変化します。そして、どんどん成長し、また新しい“単元”が生まれる…。すでに、一覧に載っていない講座が多数控えています。

勉強が苦手な生徒、得意な生徒、それぞれに合った授業“教えること”を提供し、生徒それぞれの実力に合った授業が可能になります。それぞれが自分に合った目標を見据えて進んでいくのを後押しできたら、講師としてこんなに嬉しいことはございません。これからの未来においてどのような活躍をしてくれるのか、考えるだけで気持ちが高まります。将来の可能性を広げるためにも、一日一日を無駄にすることなく、目標を持って時間を過ごしてもらいたいです。そのためにも講師全員が一丸となり、分かりやすい丁寧な指導を心掛け、常に親身に生徒をサポートしていきたいと思っています。「みなさんは、今年はどんな年にしたいですか？」

生徒の目標達成のために努力を惜しまない先生でありたい…生徒達のより充実した人生のお手伝いを沢山させていただきたい…そんな想いで今年も授業“教えること”を進化させていきたいと思ひます。

講師 渡邊光樹 2021年 元旦